

令和元(2019)年度 定期公開講座

令和元年度 宮崎公立大学 定期公開講座 * 全体テーマ 「令和時代の国際政治経済」			
講義	日 時	講 座 演 題	講 師
第1回	9月 27日(金) 18:30~20:00	開講あいさつ	竹野 地域研究センター長
		日本における女性首相の可能性	宮崎公立大学 山口 裕司 教授
第2回	10月 4日(金) 18:30~20:00	トランプ政権の政治外交 —その特殊性について—	宮崎公立大学 田中 宏明 教授
第3回	10月 11日(金) 18:30~20:00	講師紹介	竹野 地域研究センター長
		税財政の現状と課題	財務省 主税局総務課 総務第一係長 古川 健 氏
第4回	10月 18日(金) 18:30~20:00	宮崎の貿易パートナーを検証する —産業内貿易の観点から—	宮崎公立大学 稻田 光朗 助教
第5回	10月 25日(金) 18:30~20:00	新自由主義とは何か?	宮崎公立大学 清水 習 助教
		閉講あいさつ	田中 国際政治経済専攻長

講座名	宮崎公立大学 定期公開講座 「令和時代の国際政治経済」	
実施期間・回数	令和元年9月27日(金)～令和元年10月25日(金) 午後6時30分～午後8時00分	全5回
会場	宮崎公立大学 研究講義棟103大講義室	
回	講 師	タ イ ル
1	宮崎公立大学 山口 裕司 教授	日本における女性首相の可能性
2	宮崎公立大学 田中 宏明 教授	トランプ政権の政治外交 —その特殊性について—
3	財務省主税局総務課 総務第一係長 古川 健 氏	税財政の現状と課題
4	宮崎公立大学 稻田 光朗 助教	宮崎の貿易パートナーを検証する —産業内貿易の観点から—
5	宮崎公立大学 清水 習 助教	新自由主義とは何か?
受講者負担	受講料無料	
配付資料等	受講のしおり 各講座資料	
募集定員	200名	
(応募要件)	高校生以上	
延べ参加者数	308名(うちアンケート回収256名)	

【講座風景】



*第1回講座
日本における女性首相の可能性



*第5回講座
新自由主義とは何か?

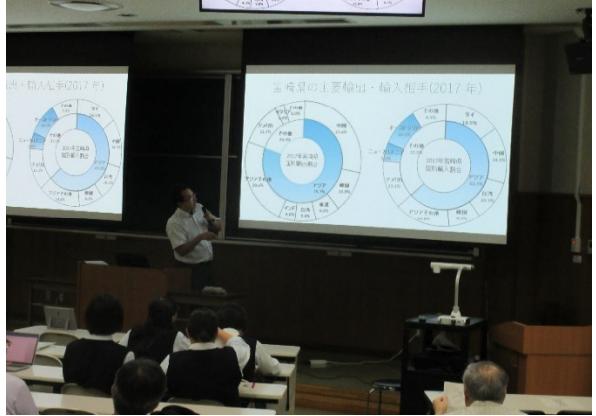
【受講者アンケートから抜粋】

- ・今回、初めて参加させていただいたのですが、たくさんの方が参加していて多用な考えを取り入れられる機会となりました。
- ・貴重な講話ありがとうございました。高校の授業では学ぶことのできないことが学べ、参加してよかったですと感じました。受講者の方の年齢層が高く、また、熱心な方が多くて驚きましたし、見習いたいと思いました。
- ・正しく理解できるようになれたと思います。一般メディアでは得られない知見が得られたと思います。

宮崎公立大学 定期公開講座 (第1回講座 / 全5回) 「令和時代の国際政治経済」		
実 施 日 時	令和元年9月27日（金曜日） 午後6時30分～午後8時00分	
会 場 ・ 時 間	宮崎公立大学 研究講義棟103 大講義室	
受 講 者 負 担	なし（受講料無料）	
応 募 要 件	高校生以上	
配 付 資 料	受講のしおり、講座資料	
演	題	担 当 講 師
日本における女性首相の可能性		宮崎公立大学 山口 裕司 教授
講 義 の 概 要	<p>わが国の「男女共同参画社会基本法」が施行されて今年で20年になります。その間、この法律を踏まえて、男性優位社会から男女平等社会への様々な取り組みがなされてきました。なかでも2003年の政府目標、「社会のあらゆる分野において、2020年までに、女性が指導的地位に占める割合を30%にする」は画期的でした。しかし今年2019年の現状は、その目標からほど遠いです。特に国会議員（衆議院）の女性議員比率は約10%で世界各国と比較しても極端に低いレベルです。</p> <p>このような現状でよいのだろうかという視点で、女性政治家（議員）が増えるにはどうすればよいのか、そしてその先に見えてくる日本初の女性首相が登場するための条件とは何か、などを検討するのがこの講座のねらいです。</p>	
受 講 者 数	受講者数：69名 (うちアンケート回収59名)	
【講座風景】＊講座担当の山口 裕司 教授		
【受講感想:アンケートから抜粋】		
<ul style="list-style-type: none"> 私は今まで、女性が首相になることに違和感が少しありました。しかし、この講座を受け、女性が首相になることにより、たくさんのメリットがあることを知り、考えが変わりました。 現在の日本は、世界に比べて女性議員の割合が少ないので、女性の割合を増やせば多くの観点から政治を行い、更に良い国づくりができると感じた。 		

宮崎公立大学 定期公開講座 (第2回講座 / 全5回) 「令和時代の国際政治経済」	
実 施 日 時	令和元年10月4日（金曜日） 午後6時30分～午後8時00分
会 場 ・ 時 間	宮崎公立大学 研究講義棟103 大講義室
受 講 者 負 担	なし（受講料無料）
応 募 要 件	高校生以上
配 付 資 料	受講のしおり、講座資料
演 題	担 当 講 師
トランプ政権の政治外交 —その特殊性について—	宮崎公立大学 田中 宏明 教授
講 義 の 概 要	<p>トランプ大統領は人種差別や女性蔑視につながる暴言を連発していますが、それでも政権の支持率がひどく低下することもなく、政権発足以来40パーセント代前半の支持率を維持しています。なぜなのでしょうか。</p> <p>対外的にもトランプ大統領は、2017年に北朝鮮への武力攻撃を示唆したかと思えば、一転して、2018年6月にはシンガポールで金正恩委員長と会談しました。トランプ大統領は何と「わたしたちは恋に落ちた」と述べています。しかし、その後の会談でも交渉は進展せず、北朝鮮は短距離ミサイルを何度も発射していますが、トランプ大統領はそれを非難することはありません。これもなぜなのでしょうか。</p> <p>このようにトランプ政権には不思議がいっぱいです。この不思議をこまめに分析することも興味深いのですが、本講座ではアメリカにおける政治の対立軸と外交の対立軸を考えながらトランプ政権の政治外交の特殊性を解き明かしていきたいと思います。</p>
受 講 者 数	受 講 者 数：69名 (うちアンケート回収62名)
<p>【講座風景】 *講座担当の田中 宏明 教授</p> <p>来た」のだから、 -国を良くしたらどう -。</p>  	
<p>【受講感想：アンケートから抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> 米日の政治的勢力図、米日における保守・リベラルの概念、新聞・テレビでよく聞く言葉（エスタブリッシュメント等）など、判り易く説明していただき理解を深めることができた。トランプ外交の考え方、流れが理解でき、今後、新聞等を読んでいく中で、大変参考になると思う。 やはりトランプ大統領とオバマ前大統領の考え方は、真反対な考えだと感じた。アメリカ内にも2つの政党が対立し、これも考え方がそれぞれ異なると改めて感じた。今後、アメリカがどういう行動をとるか不安な一面もあるが、世界に良い影響を与えてくれるといいなと思う。 	

宮崎公立大学 定期公開講座 （第3回講座 / 全5回） 「令和時代の国際政治経済」	
実施日時	令和元年10月11日（金曜日） 午後6時30分～午後8時00分
会場・時間	宮崎公立大学 研究講義棟103大講義室
受講者負担	なし（受講料無料）
応募要件	高校生以上
配付資料	受講のしおり
演題	担当講師
税財政の現状と課題	財務省 主税局総務課 総務第一係長 古川 健氏
講義の概要	<p>我が国の税制は、飛鳥時代の「租・調・庸」に始まり、江戸時代に農民が納めた「年貢」や明治政府による「地租改正」など、その当時、国家の置かれた状況に応じて大きく変化してきました。</p> <p>翻って、現在、我が国はグローバル化・少子高齢化の進展などの経済社会構造の変化に直面しています。税制においても、こうした変化に対応して、各税目が果たすべき役割を見据えながら、その在り方を検討することが求められています。こうした中、主税局職員が、税財政の現状と課題について講演とともに、皆さんと一緒に考えを深めていきたいと思います。</p>
受講者数	受講者数：57名 (うちアンケート回収49名)
<p>【講座風景】*講座担当の古川 健氏</p>  	
<p>【受講感想：アンケートから抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の税制はマスコミがたたく程、不公平なものではないという印象を持ちました。 税の現状、各国との比較、税制改正プロセス、各税項目の内容がよく理解できた。 今後、消費税の引き上げが求められてくると考えるが、国民への啓蒙が重要になってくると思う。 少子高齢化が進む中で消費税の重要性が系統的に、又、他国との比較でもよくわかった。税制一般についても大変勉強になった。 	

宮崎公立大学 定期公開講座 (第4回講座 / 全5回) 「令和時代の国際政治経済」	
実 施 日 時	令和元年10月18日（金曜日） 午後6時30分～午後8時00分
会 場 ・ 時 間	宮崎公立大学 研究講義棟103 大講義室
受 講 者 負 担	なし（受講料無料）
応 募 要 件	高校生以上
配 付 資 料	受講のしおり、講座資料
演	題
宮崎の貿易パートナーを検証する —産業内貿易の観点から—	担当講師 宮崎公立大学 稻田 光朗 助教
講 義 の 概 要	TPP、日欧EPA、日米TAG交渉など農業貿易が自由化を含む、地域貿易協定が相次いで締結されている。こうした自由貿易の推進はなぜ生じてきているのか、自由貿易にどのように対応しなければならないのか、社会的懸念が高まっている。本講義は、こうした懸念に答える第一歩として、宮崎の貿易パートナーを現代の主流派経済学である近代経済学の立場から検証する。より具体的には、現代の貿易の特徴である、産業内貿易指数の概念に基づき、受講生とともに検討する。こうした学習を通じて、相次ぐ農業に関する貿易自由化にどのように対応していくべきか、基本的な考え方について理解を深める一助としたい。
受 講 者 数	受講者数：45名 (うちアンケート回収33名)
【講座風景】 *講座担当の稻田 光朗 助教	
 	
【受講感想：アンケートから抜粋】 <ul style="list-style-type: none"> 「産業内貿易」という概念は初めて聞いたが、説明内容が判り易くよく理解できた。又、宮崎「産業内貿易」の低さにびっくりした。（農業）農家の高齢化が農業の自由化が止まらない要因だということであるが、農業構造の改革（担い手の育成、法人化等）を進めていくことの必要性を感じた。また、韓国・中国とも仲良くしていく必要性を改めて感じた。 宮崎県の課題が浮き彫りにされてきたが、今後、少子化の中で労働人口等どう解決して農産物輸出を増やしていくか、官・民・産・学協力した具体的取り組み（アクション）が必要だと思った。また、貿易に関して港湾・空港等のインフラの整備・人材育成（語学のできる人）が必要と思った。 	

宮崎公立大学 定期公開講座 (第5回講座 / 全5回) 「令和時代の国際政治経済」	
実 施 日 時	令和元年10月25日（金曜日） 午後6時30分～午後8時00分
会 場 ・ 時 間	宮崎公立大学 研究講義棟103 大講義室
受 講 者 負 担	なし（受講料無料）
応 募 要 件	高校生以上
配 付 資 料	受講のしおり、講座資料
演 題	担 当 講 師
新自由主義とは何か？	宮崎公立大学 清水 習 助教
講 義 の 概 要	<p>2008年のリーマンショック以降、「新自由主義（Neo-Liberalism）」という言葉が、一躍脚光を浴びることとなりました。それから、10年経った現在でも、「新自由主義」は現代政治経済を理解するうえで必須のキーワードとして扱われています。実際、日本においても、NHK特別番組「欲望の資本主義」等で、「新自由主義」が主要なテーマとして取り扱われることで一般にも広く知られるようになりました。</p> <p>しかし、「新自由主義」の認知度が広まる中で、その「概念」が一体何を意味し、何が問題であるのかという点においては、学界においてさえ至極曖昧なまま議論されていることは否めません。今回の講座では、この「新自由主義」と呼ばれる概念がどのように歴史的に発達し、何故、今、現代政治経済を理解するうえで重要なものとなっているかを考えてみたいと思います。</p>
受 講 者 数	受 講 者 数：68名 (うちアンケート回収53名)
<p>【講座風景】＊講座担当の清水 習 助教</p> 	
<p>【受講感想：アンケートから抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新自由主義についてあまり詳しくなかったが、今回知らなかつたことを知ることができた。新自由主義の経緯を知ることによって、今後、どういう動きを取るか興味を持った。日本や世界が、これからどういう経済をするのか注目していきたい。 ・ 私は、高校で新自由主義についてあまり深く考えたことがありませんでした。なので、はじめは難しいものだと思っていたけど、説明が丁寧で分かり易かったです。 	

定期公開講座チラシ（1）

令和元年度 宮崎公立大学 定期公開講座

令和時代の国際政治経済

本学で毎年恒例の定期公開講座を今年度も実施します。今年度は、本学の国際政治経済専攻の4名の教員に加え、財務省関係の講師も交えて全5回の講座を実施します。5回のうち1回のみの参加も可能ですので、この機会にぜひ、本学の講座を体験してみませんか。

日 程

受講料無料

令和元年

9月27日～10月25日 (毎週金曜日、全5回)

時 間

会 場

**18時30分
～20時**

宮崎公立大学
103大講義室

各日程のテーマ・講師

回・日 程

講 座 テ ー マ

担 当 講 師

第1回 9月27日（金）	日本における女性首相の可能性	宮崎公立大学 教授 山口 裕司
第2回 10月 4日（金）	トランプ政権の政治外交 —その特殊性について—	宮崎公立大学 教授 田中 宏明
第3回 10月11日（金）	税財政の現状と課題	財務省 主税局担当者
第4回 10月18日（金）	宮崎の貿易パートナーを検証する —産業内貿易の観点から—	宮崎公立大学 助教 稲田 光朗
第5回 10月25日（金）	新自由主義とは何か？	宮崎公立大学 助教 清水 習



定期公開講座チラシ（2）

令和元年度 宮崎公立大学 定期公開講座 令和時代の国際政治経済

受講料
無料

申込方法（講座期間中も受け付けいたします。1回のみの受講も可能です。）

電話	下記地域研究センターにお電話の上、定期公開講座受講希望の旨お伝えください。 電話番号：0985-20-4772（宮崎公立大学 地域研究センター直通）
FAX	本申込書に必要事項をもれなくご記入の上、FAXにてご送信ください。 FAX番号：0985-20-4773
Eメール	メールの本文に、氏名（ふりがな）・連絡のつく電話番号・受講希望日を入力し、下記のアドレスまで送信してください。 Eメールアドレス： mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp

※お申し込み受付後、特にご連絡はいたしませんので、当日会場にお越しください。

令和元年度 宮崎公立大学 定期公開講座申込書

(ふりがな) 氏 名	-----
電話番号	※連絡が取れる電話番号をご記入ください。 -----
受講希望日	※参加希望日の□にチェックしてください。1回のみの受講も可能です。 <input type="checkbox"/> 9月27日（金） <input type="checkbox"/> 10月4日（金） <input type="checkbox"/> 10月11日（金） <input type="checkbox"/> 10月18日（金） <input type="checkbox"/> 10月25日（金）

問合せ先

宮崎公立大学 地域研究センター

〒880-8520 宮崎市船塚1丁目58番地 凌雲会館2階
TEL : 0985-20-4772 FAX : 0985-20-4773
Email : mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp
受付時間 : 平日9時～17時

詳細はウェブサイトをチェック→

宮崎公立大学

<http://www.miyazaki-mu.ac.jp/>

